



## 食品安全委員会事務局

- 食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。
- また、食品安全委員会事務局は、委員会の事務を処理しています。

総務課

評価第一課

評価第二課

情報・勧告広報課

### 食品安全を守る仕組み (リスクアナリシス (リスク分析))

リスクアナリシスとは、食品に含まれる危害要因を摂取することによって人の健康に悪影響を及ぼす可能性がある場合に、その発生を防止し、又はそのリスクを低減するための考え方であり、リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションの3要素からなるものです。

我が国は、リスクアナリシスの考え方にに基づき、関係省庁が連携して食品の安全性を確保しています。

### リスク評価 (食品健康影響評価)

リスク評価とは、食品に含まれる可能性のある添加物、農薬や微生物などの危害要因が人の健康に与える影響について科学的に評価することです。

食品安全委員会は、7名の委員、約190名の専門委員、約120名の事務局員により構成され、平成15年7月の設立以来、3,000件を超えるリスク評価を実施しています。

#### ● 専門調査会

- 企画等
- 添加物
- 農薬第一
- 農薬第二
- 農薬第三
- 農薬第四
- 農薬第五
- 動物用医薬品
- 器具・容器包装
- 汚染物質等
- 微生物・ウイルス
- プリオン
- かび毒・自然毒等
- 遺伝子組換え食品等
- 新開発食品
- 肥料・飼料等

#### ● ワーキンググループ

特定の分野について集中的に審議を行うワーキンググループを以下のとおり設置しています。

- 栄養成分関連添加物 WG
- 薬剤耐性菌に関する WG
- 評価技術企画 WG
- 有機フッ素化合物 (PFAS) WG

### リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーションとは、リスクアナリシスの全過程において、消費者を始めとした関係者（ステークホルダー）がそれぞれの立場から相互に情報や意見を交換することです。

食品安全委員会では、リスク評価の内容などについてホームページ、メールマガジン、Facebook、ブログ、Xなどを通じて情報発信を行うとともに、関係省庁や地方公共団体と連携しつつ、意見交換を行っています。

#### ● 食品安全委員会ホームページ

<https://www.fsc.go.jp/>